

## 和源のお蒸を守ろう!

## 茶畑ボランティア

活動期間:2017年5月13日(土)~14日(日)(1泊2日)\*
「[体験ボランティアプログラム]は体系的な課外プログラムのため、実際の活動のほかに、事前ガイダンス・振り返り等を別談



わづかちょう \*和束町は2013年より「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。 【和東町について】「日本で最も美しい村」\*、和東町。京都府南部に位置し、周囲を山に囲まれ、清流が 流れる麓の谷間には、昔ながらの集落が点在している。まるで日本の「原風景」のような景観を次世代に残す ために、和東の茶畑は京都府景観資産地第一号に登録され、2015年4月には「日本遺産」にも認定された。 和東町では、800年ものあいだ続く宇治茶の生産の伝統と歴史を地元の茶農家さんたちが受け継いで来た。 現在、和束で生産される茶葉は京都府産の約半数を占め、その品質からも和束のお茶は全国有数の高級茶の 一つに数えられている。その一方で、和東町は人口約4200人ほどの小さな町であり、茶畑の数に対する管理す る農家が少ないという人手不足、また農家の高齢化などの課題を抱えている。その結果、管理が行き届かない 茶畑や荒れた山が増え、和束のお茶畑が減少するといった危機に晒されている現状がある。

お茶の収穫や地元の農家さんの所有する畑でお手伝いをしたり、和東町の魅力を発信す る方法などを考えながら、1泊2日でボランティア体験をします。実際の活動と地域の方 との交流を通じて、和束町に暮らす人々の想いや抱える課題に触れ、学生である自分に できることを考えてみませんか?普段の大学生活ではできない経験が得られるはず!

《プログラム実施概要》

【活動期間】2017年5月13日(土)~14日(日)(1泊2日)

【活動内容】ボランティア体験(お茶の収穫、農家さんが所有する畑のお手伝い、 和東町の魅力を発信する方法の考案)、地元の方々との交流など(予定)

【活動受入場所】和東町地域力推進課、和東中学校、(一財)和東町活性化セ ンター、地元お茶農家さん(和茶園・植田様)など

【宿泊場所】「和束町体験交流センター」

JR「加茂駅」から奈良交通バスで「和束小学校前」下車、徒歩3分

http://spogaku.pref.kyoto.lg.jp/institution/1190.html

【参加費】3000円(宿泊費、1日目の夕食、2日目の朝食・昼食を含む)

※自宅から現地までの往復交通費は別途自己負担

【対象】同志社大学学生 【定員】20名【先着順】※定員に達し次第締切 【応募条件】事前ガイダンス(5/12)・振り返り会(5/17)への参加【原則必須】

【申込方法】ボランティア支援室(ji-volun@mail.doshisha.ac.jp)へメール申込 件名「体験ボランティア申込」 本文①氏名②学生ID③志望動機(200字程度)

※食事アレルギーや体調面等、プログラム参加において配慮が必要な方は、申込時にお知らせください

## 地元お茶農家(活動受入先) 和束茶生產農家「和茶園」



代表 植田修氏

大阪府•枚方市出身、都市部 育ち。高校を在学中に北海道 の牧場でインターンシップ、 社会人生活を送った後にニコ ・ランドで約1年間ワー

キングホリデーを経験。海外での生活を通して日本 に目を向けるようになった。その時参加した和東町 でのボランティアでの経験が決め手となり、茶人に なることを24歳の時に決意。学校・修行を終え、新 規就農者として独立、和束の地に「和茶園」をスタ -トさせる。近年は、都市部の人たちへの和束茶の 普及活動のため、農業作業体験・ファームステイ・ ボランティアの受入、イベント・地域のお祭りへの 参加・田舎体験プログラム等を企画。町外からの 2人目の新規就農者として、和束町の課題に向き合 い、和東町のお茶作りの伝統を守り次の世代に継 承していくために、精力的に活動を行っている。

今出川校地(寒梅館 1 F) 075-251-3236 ji-volun@mail.doshisha.ac.jp 問い合わせ先:ボランティア支援室 (多目的ホール 1 F) 0774-65-6777 jt-volun@mail.doshisha.ac.jp